

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年2月7日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3473100562		
法人名	医療法人社団 林医院		
事業所名	グループホーム蛍の家		
所在地	広島県呉市倉橋町石持154番地1号 (電話) 0823-50-2112		
自己評価作成日	令和3年1月22日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3473100562-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和3年2月3日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

家庭での生活と同じ様に、生活できる雰囲気第一にして、地域交流・四季を通しての行事を行い、花や野菜作り・散歩・運動・レクリエーションを楽しんで頂く。令和2年は、コロナの為地域との交流機会がほとんど出来なかったが、連絡を取り今後機会が出来れば、地域行事に参加する。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

コロナ禍による自粛はあるが、最近の特徴的な取組みとして第一に「馴染みの人や場との関係継続の支援」に深化が見られる。即ち事業所では現在のコロナ禍による面会制限下の中、基本的には家族との電話連絡を介した関係継続となっているが、家族の要望に基づき事業所での玄関越し面会が少人数ながら実現し利用者の顔を見て喜ぶ家族の姿があった。第二に「本人と共に過ごし支えあう関係」に深化が見られる。即ち利用者の理解できない所で生活空間が狭まっているが、それに対し季節行事に工夫を凝らし、夏祭りでは屋外での昼食会でソーメン・唐揚げに舌鼓を打ち、演芸会では職員が船頭に扮し「音戸の舟歌」を披露したり、敬老会で弁当を注文し、春分の日におはぎ作り等、食も楽しんでいる。更に利用者の要望に沿って事業所裏に菜園が復活し、花や野菜が生活に潤いを与える等、代替サービスの工夫により新たな生活作りに取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目(蛭の家)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人理念・事業所理念を朝礼時に唱和し、職員への徹底を行っている。又、利用者への接し方で不適切と思われる対応等があった場合、職員間で適宜指導・改善を行っている。	事業所理念「思いやり介護」及び法人理念を掲示し職員への周知を図っている。又朝礼時に唱和してケア実践上の原点として意識付けをしている。隔月の全体会議の中で利用者同士の関係性の調整や初期対応から現実生活に即した支援のあり方等、日頃の業務を振り返り「思いやり介護」の達成度を検証している。	開設時の理念の策定から9年目を迎え、理念の周知や実践につき、より深く取り組むことで更なる向上を期待したい。例えば、理念の下に事業所で分かり易い具体的な年間行動目標を設定し、定期的に達成度を検証する案など、評価の検証過程を「可視化」することで、職員間の認識を共有して理念の深化・定着に期待したい。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	現在は、コロナの為地域交流出来ない為出来ていないが、今後諸行事が再開したら参加をしていく。	本来は地域行事への参加やボランティアの受け入れ等、相互交流や地域の小・中学校との世代間交流を行い地域に溶け込む努力をしていた。現在は地域交流自粛中だが、近くへの散歩中に挨拶を交わしたり、門松作りの材料調達で職員を介して地域住民に協力して頂いたり、コロナ禍での交流継続を工夫している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域行事の収集を行っているが、コロナで活動がない為参加していない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	現在は、コロナの為ご家族・市の職員・民生委員・自治会長・警察・消防等関係各所に手紙にて現状報告を行っている。	最近の会議はコロナ禍による自粛で書面による事前照会だが、本来は併設の小規模多機能型居宅介護と合同で定期的に開催され、利用者・家族・地域包括支援センター職員・民生委員・自治会長・警察署員等が参加している。会議では事業所の活動報告・意見交換が行われ、防犯対策等の助言を受けた例がある。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	呉市・倉橋支所の担当者の方や、介護相談員と話し合い助言を頂き、改善に取り組むより良いサービスの向上に努めている。	現在は市町担当者に運営推進会議資料を送付して情報共有をしている。市町担当者とは日頃から相談や報告を行い行政主催の虐待・集団指導等の研修会への参加を通して協力関係の構築を図っている。又、生活保護の利用者に対し生活課職員の定期的な訪問や介護相談員からの助言をサービス向上に活かす様努めている。	

自己評価	外部評価	項目(蛭の家)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	職場内で研修を行うことで、身体拘束による弊害を理解している。又、身体拘束禁止の対象となる具体的な行為について、事務所内に掲示している。玄関の施錠も日中は行っておらず、敷地内の施設を自由に行き来しレクリエーション、散歩を楽しんで頂いている。	研修会等を通して職員は「拘束をしない」必要性を認識し、具体的なケアの中で実践を重ねている。日中は玄関を施錠せずセンサーで見守りをしたり、居室の扉やベッドの脚元に鈴を設置している。	年2回の定期的な研修会の実施や「認知症介護10か条」を掲示して虐待等に対する注意喚起を図っている。不適切なケアに対し職員間で注意し合える関係性もあるが、「身体的拘束等の適正化のための対策を検討する」場が不明瞭である。それを検証する定期的な「場」の設置案等を期待したい。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	職場内で研修を行い、虐待防止に細心の注意を払っており、利用者の身体状況の把握をしている。	/	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在は、コロナの為部外研修に参加できないので、職場内で研修を行い権利擁護に関する制度の理解に努めている。	/	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には利用者、ご家族に対し十分な説明を行い、疑問・不安の無いように対応している。	/	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	現在は、コロナの為面会が出来ないので、定期的に家族と連絡を取り要望を伺っている。	利用者の意見は日々の会話で、又家族とは面会・介護計画更新時・電話連絡時・運営推進会議等で意見を把握し申し送りノート他で情報共有をしている。現在はコロナ禍で面会が出来ないため、定期的に家族と連絡し、適宜迅速な対応に努めている。外部受診の際、遠方の家族と連絡し病院で待ち合わせた例がある。	

自己評価	外部評価	項 目(蛭の家)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>管理者は、日々職員からの意見や提案を聞くようにしている。又、管理者は、毎週月曜日法人全体の朝礼に参加している。</p>	<p>申し送り・不定期の担当者会議・三ヶ月毎の全体会議で職員の意見や提案を聞く機会を設け、それを管理者が集約して週1回法人本部の代表者会議で検討している。管理者は随時職員と話す機会を設け業務上や職場関係での悩み等に対する支援も行い、提案によりコロナ禍によるストレス軽減の為カラオケ機器を購入した。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>勤務年数や、意欲に応じて、資格修得や研修に向けての支援を行い向上心を持って勤務にあたってもらうように努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>外部研修に参加しする機会を計画していたが、現在コロナの為中止が相次ぎ参加する事が難しい為施設内での研修を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>管理者・職員は、外部交流が難しい為手紙・電話による意見交換や情報収集を行いケアに活かしている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>サービス開始までに生活歴、経緯などを考慮し、信頼関係を築けるようにしている。又、要望等も職員全員で把握し、情報共有にした上で支援するようになっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(蛍の家)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>本人・ご家族の思いや要望を聞く時間を十分に設け、状況を確認した上で、出来る限りの対応を行っている。又、早急な対応を求めている相談者には、柔軟な対応を心掛けている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>併設している小規模多機能のサービスの説明や、その他のサービスについても説明を行うように努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>コミュニケーションを大切にし、利用者の気持ちを理解するように努めることで、家庭生活に近い生活環境の場を築くことができるよう努めている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>現在は、コロナの為面会が出来ないので、定期的に家族と連絡を取り要望を伺っている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>現在は、コロナの為行えていないが、家族や知人との関係を維持するため電話連絡を行っている。</p>	<p>「地域との絆」を大事にしており、馴染みの美容院や孫の結婚式・買い物・地域行事等を通して馴染みの場所で馴染みの顔や声と何気ない日常を楽しめる様に支援している。現在はコロナ禍による面会制限下、利用者の状態悪化時、医師と医療連携を密にして事業所裏口から短時間の面会を実施した経緯がある。</p>	

自己評価	外部評価	項 目(蛭の家)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	仲の良い利用者同士の席を近くにしたり、お互いの居室・同敷地内の施設も行き来出来るように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービスが終了しても、利用者様・ご家族とのコミュニケーションを大切にし、相談・支援に努めている。入院された場合は、お見舞いに伺ったり、電話による連絡を行っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の意見や資料を検討しながら、本人に合ったライフスタイルを検討している。日々の行動や表情から、思いや意識を理解できるよう心掛けている。	契約時の聞き取りや家族情報を基に利用者の意向の把握に努めている。職員は利用者の気持ちを大事にゆっくり話す時間を作りその行動を理解する様努めている。その情報は申し送りノートで共有している。穏やかな夫婦関係のため散歩・昼食時のみご夫婦は空間を共有し、他は併設の他事業所で生活する例がある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	これまでの生活歴を十分に理解し、今までと変わらない生活ができるように支援している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一人ひとりの生活リズムや、ペースを尊重し、体調を考慮しながら、支援している。		

自己評価	外部評価	項目(蛭の家)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>担当者会議にて、利用者・家族の要望を聞き取り、介護計画を作成している。</p>	<p>介護計画原案を適宜担当者会議で検討し、面会時等に家族の同意を得て本案としている。三ヶ月毎に計画作成担当者がモニタリングを集約し、半年を基本に計画を見直している。歩行不安定な利用者がシルバーカーでトイレ・食事等に向かう際、職員が居室から付き添う事で歩行能力の維持に繋げた立案例がある。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の申し送りで、利用者の様子や状態の変化・気付き等を報告している。定期的にミーティングを行い、情報共有、状態に変化があれば、都度、介護計画の見直しを行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>本人や、ご家族の要望に応じた介護計画を作り、柔軟な対応をしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>現在は、コロナの為実施されていないが、運営推進会議等で意見を聞き支援をしていきたい。又、地域との交流も行なえる支援をしていきたい。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>母体法人の医療機関からの往診・訪問看護との連携により、適切な医療が受けられるよう支援している。又、かかりつけ医への定期受診は、ご家族に通院介助をお願いしているが、無理な場合は、施設職員による通院介助を行っている。</p>	<p>利用前の主治医の受診継続も可能だが、殆どの利用者は母体法人の協力医を主治医としている。協力医から週2回の往診や緊急時には母体法人の訪問看護との連携もある。又日頃の健康管理は併設の小規模多機能事業所の看護師に相談をしたり、協力歯科医への受診もあり、安心して医療が受けられる体制がある。</p>	

自己評価	外部評価	項 目(蛍の家)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>利用者の体調の変化や、介護職員が不安な事などは、看護師に相談している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者が入院した際、本人の支援の方法に関する情報をご家族、病院関係者に提供している。また退院時には、医療関係者と話し合い、本人・ご家族・職員で話し合いを行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>契約時に看取りの指針を説明している。また、実際に看取りが必要な状態になった場合、再度ご家族に説明し、書面による同意を得て、看護師と連携し24時間体制で経過観察ができるようにしている。</p>	<p>要望があれば看取りを行なう方針である。契約時に「看取りの指針」で説明し、書面にて事前確認をしている。重度化した際には家族・医師・管理者等で話し合いを行い、書面による同意の下、「対応指針」に基づき訪問看護ステーションと連携して適切な支援を行う考えである。過去に看取りの経験もある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>職場内で研修を行い、虐待防止に細心の注意を払っており、利用者の身体状況の把握をしている。職員全員が対応できるように定期的に学ぶ機会を設け、緊急時に活かせる技術を身につけるように、マニュアルを基に取り組んでいる。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年2回の防火訓練を実施し、消防・警察・自治体と連携を取り、災害訓練にも生かしている。</p>	<p>消防署指導の下、年2回の避難訓練を夜間想定、利用者参加を含めて併設小規模多機能事業所と合同で行う他、実践的な自主訓練もある。又、ハザードマップでは土砂災害警戒区域であり、近隣の消防署や自治会長等と地域の防災訓練等の情報交換や増設した事業所も含めた備蓄整備等の減災対策にも取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目(蛍の家)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	人格を尊重し、プライバシーが確保できるような職員による声掛け、接し方になるよう、日常業務の中で指導を行っている。	研修で職員の幅広い知識の習得と資質向上を図る体制もある。尊厳に配慮してケアに関わり、利用者に対する言葉かけも不適切な対応には指導や気づきを促すが、職員間で話しやすい雰囲気があり、気づきがあれば職員同士で声をかけあっている。又、申し送り等でも個人情報に関わる内容は周囲に配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	コミュニケーションを大事にすることで、自己決定の支援へとつなげている。意思決定が困難な場合でも、表情や反応から思いを理解し、希望や願いをを意図的に引き出せるように、支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	本人の思いに沿った生活ができるように、一人ひとりに話を聞きながら支援するようにしている。利用者の生活リズムを尊重し、ゆったりとした環境で、本人の意向や要望を聞きながら、支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	利用者の希望や好みを尊重し、季節感や清潔感のある、その人らしいおしゃれをして頂けるように支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	定期的に利用者に希望を聞き、季節感のある行事食作りを一緒に行っている。職員と一緒に会話を楽しみながら食事を楽しんで頂き、後片付けもできる範囲でお手伝いして頂いている。	食事は母体法人関連の外部業者から届いたレトルト食材を温め、職員の作った汁物を添えて提供している。事業所の畑で収穫した野菜が食卓に上ることもある。利用者はお盆拭き等、役割に応じた手伝いを行っている。毎月の誕生日食や行事食は利用者の好みを反映させたり、春分の日のおはぎ作り等も行っている。	

自己評価	外部評価	項 目(蛭の家)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>職員が日々一緒に食事をする中で、利用者の嗜好や、嚥下状態の確認が出来ている。食事摂取量・水分量は記録し、不足している場合は、栄養補助食品を提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、本人の状態に合った口腔ケアを行っている。自分で口腔ケアを行っている利用者に対しても、定期的に職員が確認し、口腔内の清潔を保持している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄表を使用し、排泄パターンの把握をし、羞恥心・自尊心に配慮しながらトイレ誘導を行っている。身体状態に合わせた個別支援を行い失敗の減少に努めている。</p>	<p>出来るだけトイレで排泄してもらうように排泄記録表等で各人の排泄パターンを把握しトイレ誘導をしている。又、日中居室に閉じこもりがちだった利用者をフロアに出るように声掛けを続けている内に昼間は居室のポータブルトイレからトイレに移行した例もある。夜間のみポータブルトイレの例が3例ある。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便の確認と適度な運動・水分補給を行っている。必要な場合は内服薬を服用して頂いている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>予定を決めているが、本人の体調・希望を考慮した支援を行っている。</p>	<p>週2回の午前浴が主だが、利用者の体調や入浴習慣に合わせて好みの湯温や時間等、柔軟に対応している。利用者の体の負担を考慮し、シャワー浴や足浴で対応することもある。半埋め込み式家庭浴槽に浴槽横の壁面には持ちやすい位置にスライド可能な縦すりすり等の環境整備の他、冬至の柚子湯も行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項 目(蛍の家)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>一人ひとりの体調を考慮し、ゆ ったりと休憩や睡眠をとれるよ うに支援している。常に清潔を 心がけ安らぐことができる居 室にしている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>看護師より処方されている薬の 説明を受けて本人手渡しを徹底 し、飲み忘れのないよう確認を 行っている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>充実した一日が過ごせるように 、レクレーション等を行ってい る。一人ひとりの能力に应运 じて、出来ることを行ってもら えるように支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出か けられるように支援している。</p>	<p>入居者の希望を把握し職員が 買い物に行くようにしている。 散歩や併設する施設のレクリ ーションに参加するなど自由 に過ごして頂いている。</p>	<p>現在はコロナ禍で事業所周圍 の散歩・菜園での野菜収穫・併 設の他事業所との交流の他は 外出自粛としている。本来は 買い物や音戸の瀬戸にツツジ 見物等、季節の外出行事や地 域の小・中学校の運動会見学 等、普段は行けないような場 所で「非日常」を楽しんだり 、家族との外食等、個別外出 支援も行っている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。</p>	<p>ご家族と話し合い、本人が小 遣いを持てるようにし、欲し いものを定期的に職員が買 い物を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(蛭の家)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	プライバシーに配慮しながら、希望に応じて、電話・手紙を出せるように支援している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	デイルーム等の共用スペースでは、利用者様が気持ちよく過ごせるように清潔に努めている。季節感のある掲示物や花等を飾り居心地の良い空間になるよう努めている。	職員が持って来た花や利用者と菜園で摘んできた花を生けて季節感を醸し出している。正月・七夕等、行事の飾り付けや利用者とする壁掛け作品で季節の移ろいが感じられ、海を臨めるフロアと相俟って癒しの空間を作り出している。今般の感染症対策で来訪者・職員等の消毒・マスク着用や換気等に万全を期している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	日当たりのよいデイルームで、日向ぼっこをしたり、TVを見たり・カラオケをしたり、海を眺めたりと自由に過ごして頂いている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人、家族と話し合い自宅で使用していた物を自由に持ち込めるようにしている。利用者が大切な物に囲まれた、心地の良い居室作りを行っている。	居室にはベッド・クローゼット等が備え付けられ、テレビ等、使い慣れた物や家族の写真等、好みの物を持ち込み居心地よく過ごせる様にしている。又、利用者によっては夜間排泄時の転倒防止のためポータブルトイレの設置や居室の扉・ベッドの脚元に鈴を設置している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	個々の身体状況や能力に合わせ家族・本人と相談しながら家具の配置等を検討している。本人の能力を生かしつつ安全に配慮した環境作りを行い、状態が変化した場合は、その都度話し合いを行い整備している。		

V アウトカム項目(蛍の家) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	③たまに
			④ほとんどない
			①大いに増えている
			②少しずつ増えている
66	職員は、生き活きと働けている	○	③あまり増えていない
			④全くいない
			①ほぼ全ての職員が
			②職員の3分の2くらいが
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	③職員の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
			①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
			①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の3分の2くらいが
			③家族等の3分の1くらいが
			④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(蛭の家2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	法人理念・事業所理念を朝礼時に唱和し、職員への徹底を行っていきます。又、利用者への接し方で不適切と思われる対応等があった場合、職員間で適宜指導・改善を行います。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	現在は、コロナの為地域交流出来ない為出来ていないが、今後諸行事が再開したら参加をしていきたいと思えます。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域行事の収集を行っているが、コロナで活動がない為参加していない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	現在は、コロナの為ご家族・市の職員・民生委員・自治会長・警察・消防等関係各所に手紙にて現状報告を行っていきます。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	呉市・倉橋支所の担当者の方や、介護相談員と話し合い助言を頂き、改善に取り組みより良いサービスの向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目(蛍の家2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>職場内で研修を行うことで、身体拘束による弊害を理解している。又、身体拘束禁止の対象となる具体的な行為について、事務所内に掲示している。玄関の施錠も日中は行っておらず、敷地内の施設を自由に行き来しレクリエーション、散歩を楽しんで頂いている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>職場内で研修を行い、虐待防止に細心の注意を払っており、利用者の身体状況の把握をしている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現在は、コロナの為部外研修に参加できないので、職場内で研修を行い権利擁護に関する制度の理解に努めている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には利用者、ご家族に対し十分な説明を行い、疑問・不安の無いように対応している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>現在は、コロナの為面会が出来ないので、定期的に家族と連絡を取り要望を伺っている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(蛭の家2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	管理者は、日々職員からの意見や提案を聞くようにしている。又、管理者は、毎週月曜日法人全体の朝礼に参加している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	勤務年数や、意欲に応じて、資格修得や研修に向けての支援を行い向上心を持って勤務にあたってもらうように努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	外部研修に参加しする機会を計画していたが、現在コロナの為中止が相次ぎ参加する事が難しい為施設内での研修を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	管理者・職員は、外部交流が難しい為手紙・電話による意見交換や情報収集を行いケアに活かしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	サービス開始までに生活歴、経緯などを考慮し、信頼関係を築けるようにしている。又、要望等も職員全員で把握し、情報共有にした上で支援するようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目(蛍の家2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	本人・ご家族の思いや要望を聞く時間を十分に設け、状況を確認した上で、出来る限りの対応を行っている。又、早急な対応を求めている相談者には、柔軟な対応を心掛けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	併設している小規模多機能のサービスの説明や、その他のサービスについても説明を行うように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	コミュニケーションを大切にし、利用者の気持ちを理解するように努めることで、家庭生活に近い生活環境の場を築くことができるよう努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	現在は、コロナの為面会が出来ないので、定期的に家族と連絡を取り要望を伺っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	現在は、コロナの為行えていないが、家族や知人との関係を維持するため電話連絡を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目(蛍の家2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	仲の良い利用者同士の席を近くにしたり、お互いの居室・同敷地内の施設も行き来出来るように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービスが終了しても、利用者様・ご家族とのコミュニケーションを大切にし、相談・支援に努めている。入院された場合は、お見舞いに伺ったり、電話による連絡を行っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の意見や資料を検討しながら、本人に合ったライフスタイルを検討している。日々の行動や表情から、思いや意識を理解できるよう心掛けている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	これまでの生活歴を十分に理解し、今までと変わらない生活ができるように支援している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一人ひとりの生活リズムや、ペースを尊重し、体調を考慮しながら、支援している。		

自己 評価	外部 評価	項 目(蛭の家2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	担当者会議にて、利用者・家族の要望を聞き取り、介護計画を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の申し送りで、利用者の様子や状態の変化・気づき等を報告している。定期的にミーティングを行い、情報共有、状態に変化があれば、都度、介護計画の見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	本人や、ご家族の要望に応じた介護計画を作り、柔軟な対応をしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	現在は、コロナの為実施されていないが、運営推進会議等で意見を聞き支援をしていきたい。又、地域との交流も行なえる支援をしていきたい。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	母体法人の医療機関からの往診・訪問看護との連携により、適切な医療が受けられるよう支援している。又、かかりつけ医への定期受診は、ご家族に通院介助をお願いしているが、無理な場合は、施設職員による通院介助を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目(蛭の家2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>利用者の体調の変化や、介護職員が不安な事などは、看護師に相談している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者が入院した際、本人の支援の方法に関する情報をご家族、病院関係者に提供している。また退院時には、医療関係者と話し合い、本人・ご家族・職員で話し合いを行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>契約時に看取りの指針を説明している。また、実際に看取りが必要な状態になった場合、再度ご家族に説明し、書面による同意を得て、看護師と連携し24時間体制で経過観察ができるようにしている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>職場内で研修を行い、虐待防止に細心の注意を払っており、利用者の身体状況の把握をしている。職員全員が対応できるように定期的に学ぶ機会を設け、緊急時に活かせる技術を身につけるように、マニュアルを基に取り組んでいる。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年2回の防火訓練を実施し、消防・警察・自治体と連携を取り、災害訓練にも生かしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(蛭の家2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	人格を尊重し、プライバシーが確保できるような職員による声掛け、接し方になるよう、日常業務の中で指導を行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	コミュニケーションを大事にすることで、自己決定の支援へとつなげている。意思決定が困難な場合でも、表情や反応から思いを理解し、希望や願いを意図的に引き出せるように、支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	本人の思いに沿った生活ができるように、一人ひとりに話を聞きながら支援するようにしている。利用者の生活リズムを尊重し、ゆったりとした環境で、本人の意向や要望を聞きながら、支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	利用者の希望や好みを尊重し、季節感や清潔感のある、その人らしいおしゃれをして頂けるように支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	定期的に利用者に希望を聞き、季節感のある行事食作りを一緒に行っている。職員と一緒に会話を楽しみながら食事を楽しんで頂き、後片付けもできる範囲でお手伝いして頂いている。		

自己評価	外部評価	項 目(蛭の家2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>職員が日々一緒に食事をする中で、利用者の嗜好や、嚥下状態の確認が出来ている。食事摂取量・水分量は記録し、不足している場合は、栄養補助食品を提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、本人の状態に合った口腔ケアを行っている。自分で口腔ケアを行っている利用者に対しても、定期的に職員が確認し、口腔内の清潔を保持している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄表を使用し、排泄パターンの把握をし、羞恥心・自尊心に配慮しながらトイレ誘導を行っている。身体状態に合わせた個別支援を行い失敗の減少に努めている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便の確認と適度な運動・水分補給を行っている。必要な場合は内服薬を服用して頂いている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>予定を決めているが、本人の体調・希望を考慮した支援を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(蛭の家2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	一人ひとりの体調を考慮し、ゆ ったりと休憩や睡眠をとれるよ うに支援している。常に清潔を 心がけ安らぐことができる居 室にしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	看護師より処方されている薬の 説明を受けて本人手渡しを徹底 し、飲み忘れのないよう確認を 行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	充実した一日が過ごせるように 、レクレーション等を行ってい る。一人ひとりの能力に应运 じて、出来ることを行ってもら えるように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出 かけられるように支援してい る。	入居者の希望を把握し職員が 買い物に行くようにしている。 散歩や併設する施設のレクレー ションに参加するなど自由に 過ごして頂いている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に应运じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。	ご家族と話し合い、本人が小遣 いを持つようにし、欲しいもの を定期的に職員が買い物を行 っている。		

自己評価	外部評価	項 目(蛭の家2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	プライバシーに配慮しながら、希望に応じて、電話・手紙を出せるように支援している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ダイルーム等の共用スペースでは、利用者様が気持ちよく過ごせるように清潔に努めている。季節感のある掲示物や花等を飾り居心地の良い空間になるよう努めている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	日当たりのよいダイルームで、日向ぼっこをしたり、TVを見たり・カラオケをしたり、海を眺めたりと自由に過ごして頂いている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人、家族と話し合い自宅で使用していた物を自由に持ち込めるようにしている。利用者が大切な物に囲まれた、心地の良い居室作りを行っている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	個々の身体状況や能力に合わせて家族・本人と相談しながら家具の配置等を検討している。本人の能力を生かしつつ安全に配慮した環境作りを行い、状態が変化した場合は、その都度話し合いを行い整備している。		

V アウトカム項目(蛍の家2) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	③たまに
			④ほとんどない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	③あまり増えていない
			④全くいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の3分の2くらいが
69	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	③職員の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
70	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
71	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
72	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の3分の2くらいが
73	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	③家族等の3分の1くらいが
			④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム蛍の家

作成日 令和3年4月1日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議を活かした取り組み。	利用者様が生活しやすい環境作り、地域行事の参加。	家族・利用者・自治会民生委員・呉市職員等からの意見を聞き地域との連携を深める。	一年間
2	13	災害対策。	あらゆる災害に備えて避難訓練・緊急連絡の実施。	専門職・公的機関への相談や地域の災害訓練への参加をする。	一年間
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。